

対象校No. 260
注4

学校コード F139210110520
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
高知工科大学 データ&イノベーション学群

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

高知県公立大学法人
令和6年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	総務部総務課
職名・氏名	カ チョウ シモモト ヨウコ 課長・下元 陽子
電話番号	0887-53-1111
（夜間）	0887-53-1111
e-mail	general@ml.kochi-tech.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、該当番号を記載してください。

目次

データ&イノベーション学群

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教育研究実施組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

高知県公立大学法人

(2) 大 学 名

高知工科大学

(3) 調査対象大学等の位置

(香美キャンパス) 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185番地
(永国寺キャンパス) 〒780-8515 高知県高知市永国寺町2番22号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イトウ ヒロアキ) 伊藤 博明 (令和4年4月)	— — —	
学 長	(チョウノ シゲオミ) 蝶野 成臣 (令和5年4月)	— — —	
学 部 長	(フルサワ ヒロシ) 古澤 浩 (令和6年4月)	— — —	
学科長等	該当なし	— — —	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
データ&イノベーション学群 学士(データ&イノベーション学)	工学関係 経済学関係	4年	60人	2年次 － 3年次 － 4年次 － 人	240人	－	・基礎となる学部等 情報学群、経済・マネジメント学群

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。)

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	－ － (ー) [ー]	－	－ － (ー) [ー]	－	－ － (ー) [ー]	－	－ － (ー) [ー]	－ － (ー) [ー]	－ － (ー) [ー]	－ － (ー) [ー]	60人 60 (ー) [ー]	－	－	1.03倍	－	
志願者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	211 (ー) [ー]	－ (ー) [ー]				
受験者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	202 (ー) [ー]	－ (ー) [ー]				
合格者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	74 (ー) [ー]	－ (ー) [ー]				
B 入学者数	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	－ (ー) [ー]	62 (ー) [ー]	－ (ー) [ー]				
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		－		1.03					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」A0対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	62 [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
2 年次			－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
3 年次					－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
4 年次							－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	－ [ー] (ー)	
計			－ [ー] (ー)				－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		－ [ー] (ー)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	62 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\quad - \quad} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{62} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<データ&イノベーション学群>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(助手外を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会科学等科目(教養科目)	日本国憲法	1前	○		2							1
	文化としての戦略と戦術	1後			2							1
	日本人の教養	1後			2							1
	人権問題	1前・後			1				1			1
	基礎心理学	1後			2				1			1
	体育理論	1前・後			1							1
	体育実技	1前・後			1							4
	音楽文化論～人間・音楽・教育のかかわり～	1前			1							1
	日本発展史(E)	1後			2		1					1
	危機管理概論	1後			2							1
	心理学	2後			2							1
	哲学	2後			2							1
	倫理学	2前			2							1
	日本史概説	2後			2							1
	西洋史概説	2後			2							1
	東洋史概説	2前			2							1
	日本近現代史	2後			2							1
	知的財産権と特許	3前			2							1
	ドイツ語Ⅰ	2・3後			2							1
	ドイツ語Ⅱ	2・3後			2							1
	中国語Ⅰ	2・3後			2							1
(基礎・社会科学等科目)(英語等科目)	Reading/Listening	1前・後	○		2							1
	English Projects	1前・後			2							1
	Speech Communication	1前			2							1
	Power English	1後			2							1
	Listening/Speaking	1後			1							1
	Reading Workshop	2前・後			2							1
	Presenting Ideas	2前・後			2							1
	Presentation	2・3・4前			2							1
	Advanced English Projects	2・3・4後			2							1
	Basic Business English and TOEIC	2・3・4前			2							1
	Advanced Business English and TOEIC	2・3・4後			2							1
(基礎・社会科学等科目)(人文学等科目)	English Today	3・4後	○		2							1
	Exploring Rural Communities in Japan	1・2・3・4前			2							1
	ビジネス英語基礎	2通			2			1				1
	ビジネス英語	3通			2			1				1
	キャリアセミナー	3通				1				1		
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
小計(42科目)		—	—		77	1	1		1	1		22
自然科学等科目(教養科目)	物理学概論	4前			2		1					2
	現代化学の基礎	4後			2							1
	高知の最先端農業～IoT(Internet of Plants)～	3前			2							1
	データ農業をやってみよう！IoTサマースクール	2前			2							1
	次世代農業を感じてみよう！IoTスプリングスクール	1後			1							1
	応用化学概論	2後			2							1
	ヒトの生物学	2前			2							1
	地球システムの科学	2前・後			2							1
	はじめての気象学	2・3後			2							2
	人体の構造と機能	2・3後			2							2
	環境問題のとらえ方と解決方法	2・3後			2							2
	初歩からの宇宙の科学	2・3後			2							2
	生物環境の科学	2・3後			2							2
	自然科学はじめの一步	2・3後			2							2
	物理学概論	4前			2							2

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(助手外を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会科学等科目(教養科目)	日本国憲法	1前	○		2							1
	文化としての戦略と戦術	1後			2							1
	日本人の教養	1後			2							1
	人権問題と法律	1前・後			1				1			1
	基礎心理学	1後			2							1
	体育理論	1前・後			1							1
	体育実技	1前・後			1							4
	音楽文化論～人間・音楽・教育のかかわり～	1前			1							1
	危機管理概論	1後			2							1
	心理学	2後			2							1
	哲学	2後			2							1
	倫理学	2前			2							1
	日本史概説	2後			2							1
	西洋史概説	2後			2							1
	東洋史概説	2前			2							1
	日本近現代史	2後			2							1
	知的財産権と特許	3前			2							1
	ドイツ語Ⅰ	2・3後			2							1
	ドイツ語Ⅱ	2・3後			2							1
	中国語Ⅰ	2・3後			2							1
	中国語Ⅱ	2・3後			2							1
(基礎・社会科学等科目)(英語等科目)	English 1	1前	○		2							1
	English 2	1後			2							2
	Advanced English 1	1後			2							1
	Advanced English 2	2前			2							1
	Listening/Speaking	1後			1							1
	Reading Workshop	2前・後			2							1
	English Communication	2前・後			2							1
	Advanced English 3	2・3・4後			2							1
	Business English and TOEIC	2・3・4後			2							1
	English Today	3・4後			2							1
	Exploring Rural Communities in Japan	1・2・3・4前			2							1
(基礎・社会科学等科目)(人文学等科目)	ビジネス英語基礎	2通	○		2					1		1
	ビジネス英語	3通			2					1		1
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
	キャリアセミナー	3通										
小計(39科目)		—	—		71	1	0		1	1		23
自然科学等科目(教養科目)	物理学概論	4前			2			1				2
	現代化学の基礎	4後			2							1
	高知の最先端農業～IoT(Internet of Plants)～	3前			2							1
	データ農業をやってみよう！IoTサマースクール	2前			2							1
	次世代農業を感じてみよう！IoTスプリングスクール	1後			1							1
	応用化学概論	2後			2							1
	ヒトの生物学	2前			2							1
	地球システムの科学	2前・後			2							1
	リベラルアーツとしての科学	2前			2							1
	現代天文学・宇宙論への招待	2後			2							1
	はじめての気象学	2・3後			2							2
	人体の構造と機能	2・3後			2							2
	環境問題のとらえ方と解決方法	2・3後			2							2
	初歩からの宇宙の科学	2・3後			2							2
	生物環境の科学	2・3後			2							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員(助手以外を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自然科学等科目(基礎科目)(数学)	数学基礎演習	1前				1						1
	基礎数学	1前			1							1
	数学1	1前			2							1
	数学2	1前・後			2							1
	数学3	1後			2							1
	数学4	1前・後			2							1
	数学5	1後			2							1
	数学7	4後			2							1
	数学8	2前			2							1
	数学9	2前			2							1
	数学10	2後			2							1
	線形代数学1	1前			2							1
	線形代数学2	1後			2							1
	微分積分学1	1前			2							1
	微分積分学2	1後			2							1
	微分積分学3	2前			2							1
	微分方程式論	2後			2							1
	代数学概論	2前			2							1
	代数学1	3後			2							1
	代数学2	4前			2							1
	データ工学のための数学基礎	1後	○		2		1					
	データ工学のための数学1	2通	○		2		1					
	データ工学のための数学2	3通	○		2		1					
(基礎科目)(情報)	コンピュータリテラシー	1前	○		2			1				
	情報科学1	1前	○		2			1				
	情報科学2	1後	○		2		1					
	情報科学3	1前			2			1				
	小計(41科目)	—	—		78	1	2	1				11
工学系共通科目	材料力学	1後			2							1
	流れの科学	4前			2							2
	制御基礎	4後			2							1
	電気回路基礎	2前			2							2
	計測基礎	2前			2							1
	情報ネットワーク基礎	3後			2							1
	データサイエンスの基礎1	1前	○		2		3	1				
	基礎化学	4前			2							1
	生命科学	4後			2							2
	量子力学	4前			2							1
	経営学基礎	1前	○		2		1					
	経済学基礎	1前	○		2		1					
	工学概論	4前			2		1					12
	新しい時代の技術者倫理	4後			2							
	小計(14科目)	—			28		5	1				21
専門基礎科目	力学	1前			2							1
	イノベーションの倫理	1後			2							1
	データ&イノベーション概論	1前	○		2		11	3	1	1		1
	簿記・会計	1後	○		2		1					1
	先端デジタル価値創造	1後	○		2		11	3	1	1		1
	ICT概論	1後	○		2		1					
	ITビジネス・マーケティング入門	1後	○		2		3					1
	社会資本マネジメント	1後	○		2		1					
	インターネットシステム	2前	○		2		1					
	IoT概論	2後	○		2			1				
	コンピュータシステム	1後	○		2		1					
	経営管理論	2前	○		2		1					
	社会心理学	2前	○		2				1			
	マネジメント構造論	2後	○		2		1					
	インターンシップ	3通				2	9	3	1	1		1
	小計(15科目)	—			28	2	11	3	1	1		3
専門発展科目	統計モデル	2後	○		2		1					
	人工知能と計算知能	2前	○		2		1					
	機械学習と深層学習	3前	○		2		1					
	財務・管理会計論	2後	○		2		1					
	未来社会基盤計画	2後	○		2		1					
	未来社会経営	3前	○		2		1					
	地域産業・起業論	3前	○		2		1					
	現象分析論	3前			2							1
	ネットワークシステムとセキュリティ	3後	○		2		1					
	デジタルビジネス・トランスフォーメーション	2前	○		2		2					1
	DXのケーススタディ1	2前	○		2		11	3	1	1		1
	データサイエンスの実践	2後	○		2		1					
	イノベーション創出	2前	○		2		9	3	1	1		1
	感性情報学概論	2後			2							1
	地球システムデザイン	2後	○		2			1				
	消費行動論	2後	○		2				1			
	データマイニング	2前	○		2		1					
	空間情報学	3前	○		2			1				
	企業価値評価論(E)	3後	○		2		1					
	AIマーケティング	3後	○		2				1			
	DXのケーススタディ2	2後	○		2		11	3	1	1		1
	小計(21科目)	—			42		11	3	1	1		2

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 以 外 を 除 く （ 助 手 ）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
自然科学等科目 （基礎科目（数学））	数学基礎演習	1前				1						2
	基礎数学	1前			1							1
	数学1	1前			2							1
	数学2	1前・後			2							1
	数学3	1後			2							1
	数学4	1後			2							1
	数学5	1後			2							1
	数学7	4後			2							1
	数学8	2前			2							1
	数学9	2前			2							1
	数学10	2後			2							1
	線形代数学1	1前			2							1
	線形代数学2	1後			2							1
	微分積分学1	1前			2							1
	微分積分学2	1後			2							1
	微分積分学3	2前			2							1
	微分方程式論	2後			2							1
	代数学概論	2前			2							1
	代数学1	3後			2							1
	代数学2	4前			2							1
データ工学のための数学基礎	1通	○		2		1						
データ工学のための数学1	2通	○		2		1						
データ工学のための数学2	3通	○		2		1						
（基礎科目（情報））	コンピュータリテラシー	1前	○		2			1				
	データサイエンスリテラシー	1前	○		2			1				
	情報科学基礎	1前	○		2			1				
	情報科学応用	1後	○		2		1					
	小計(43科目)	—	—		82	1	2	1				15
工学系共通科目	材料力学	1後			2							2
	流れの科学	4前			2							2
	制御基礎	4後			2							1
	電気回路基礎	2前			2							2
	計測基礎	2前			2							1
	情報ネットワーク基礎	1後			2							1
	データサイエンスの基礎	1前	○		2		1					
	基礎化学	4前			2							1
	生命科学	4後			2							2
	量子力学	4前			2							1
	経営学基礎	1前	○		2		1					
	経済学基礎	1前	○		2			1				
	工学概論	4前			2		1					12
	新しい時代の技術者倫理	4後			2							
	小計(14科目)	—			28		3	1				22
専門基礎科目	力学1	1前			2							1
	イノベーションの倫理	1前			2							1
	データ&イノベーション概論	1前	○		2		11	4	1	1		1
	簿記・会計	1後	○		2		1					
	先端デジタル価値創造	1後	○		2		11	4	1	1		1
	ICT概論	1後	○		2		1					
	ITビジネス・マーケティング入門	1前	○		2							1
	社会資本マネジメント	1後	○		2		1					
	インターネットシステム	2前	○		2		1					
	IoT概論	2後	○		2			1				
	コンピュータシステム	1後	○		2		1					
	経営管理論	2前	○		2		1					
	社会心理学	2前	○		2				1			
	マネジメント構造論	2後	○		2		1					
インターンシップ	3通				2	9	4	1	1		1	
	小計(15科目)	—			28	2	11	4	1	1		3
専門発展科目	力学2	1前			2							1
	統計モデル	2後	○		2			1				
	人工知能と計算知能	2前	○		2			1				
	機械学習と深層学習	3前	○		2			1				
	財務・管理会計論	2後	○		2			1				
	未来社会基盤計画	2後	○		2			1				
	未来社会経営	3前	○		2			1				
	地域産業・起業論	3前	○		2			1				
	現象分析論	3前			2							1
	ネットワークシステムとセキュリティ	3後	○		2			1				
	デジタルビジネス・トランスフォーメーション	2前	○		2			2				1
	DXのケーススタディ1	2前	○		2		11	4	1	1		1
	データサイエンスの実践	2後	○		2		1					
	イノベーション創出	2前	○		2		9	4	1	1		1
	感性情報学概論	2後			2							1
	地球システムデザイン	2後	○		2			1				
	消費行動論	2後	○		2				1			
	データマイニング	2前	○		2		1					
	空間情報学	3前	○		2			1				
	企業価値評価論(E)	3後	○		2		1					
AIマーケティング	3後	○		2				1				
DXのケーススタディ2	2後	○		2		11	4	1	1		1	
	小計(22科目)	—			44		11	4	1	1		3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員（助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻領域科目	デジタルビジネスのフロンティア	3前	○		2		2					1
	地域DXの実践	3通	○		2		11	3	1	1		1
	アセット・マネジメント	3後	○		2		1					
	機械学習アドバンスト応用実習	3前	○		2		1					
	環境リモートセンシング	3後	○		2			1				
	AIロボティックス	3後	○		2			1				
	AIヒューマンセンシング	3後	○		2			1				
	行政経営論	3後	○		2		1					
	事業創造・起業特論	3後	○		2		1					
	経営と組織管理	3前	○		2		1					
	社会システムデザイン	3後	○		2		9	3	1	1		1
	金融論	3前	○		2		1					
	経営戦略論	3前	○		2		1					
	学士特別研究	4前	○		4		11	3	1			
	卒業研究	4通	○		8		11	3	1			
小計(15科目)				—	—	38	11	3	1	1		1
合計(148科目)				—	—	291	4	11	3	1	1	55
卒業要件及び履修方法												
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を10単位以上、自然科学等科目を12単位以上、専門科目のうち工学系共通科目を12単位以上、専門基礎科目・専門発展科目・専攻領域科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員（助手を除く）
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻領域科目	デジタルビジネスのフロンティア	3前	○		2		2					1
	地域DXの実践	3通	○		2		11	4	1	1		1
	アセット・マネジメント	3後	○		2		1					
	機械学習アドバンスト応用実習	3前	○		2		1					
	環境リモートセンシング	3後	○		2			1				
	AIロボティックス	3後	○		2			1				
	AIヒューマンセンシング	3後	○		2			1				
	行政経営論	3後	○		2		1					
	事業創造・起業特論	3後	○		2		1					
	経営と組織管理	3前	○		2		1					
	社会システムデザイン	3後	○		2		9	4	1	1		1
	金融論	3前	○		2		1					
	経営戦略論	3前	○		2		1					
	学士特別研究	4前	○		4		11	4	1			
	卒業研究	4通	○		8		11	4	1			
小計(15科目)				—	—	38	11	4	1	1		1
合計(148科目)				—	—	291	4	11	4	1	1	59
卒業要件及び履修方法												
大学共通科目のうち人文・社会科学等科目を10単位以上、自然科学等科目を12単位以上、専門科目のうち工学系共通科目を12単位以上、専門基礎科目・専門発展科目・専攻領域科目を60単位以上かつ修得した単位の合計が124単位以上とする。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・科目内容の充実のため、「人権問題」の名称を「人権問題と法律」に変更。
 - ・科目内容の充実及び効果的配置のため、「English Projects」の名称を「English 2」、配当時期を「1前・後」から「1後」、教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
 - ・科目内容の充実及び効果的配置のため、「Speech Communication」の名称を「Advanced English 1」、配当時期を「1前」から「1後」に変更。
 - ・科目内容の充実及び効果的配置のため、「Power English」の名称を「Advanced English 2」、配当時期を「1後」から「2前」に変更。
 - ・科目内容の充実のため、「Presenting Ideas」の名称を「English Communication」に変更。
 - ・科目内容の充実及び効果的配置のため、「Presentation」の名称を「Advanced English 3」、配当時期を「2・3・4前」から「2・3・4後」に変更。
 - ・科目内容の充実及び効果的配置のため、「Basic Business English and TOEIC」の名称を「Business English and TOEIC」、配当時期を「2・3・4前」から「2・3・4前・後」に変更。
 - ・科目内容の充実及び担当教員の就任により、「データサイエンスの基礎1」の名称を「データサイエンスの基礎」、基幹教員等の配置を「教授3」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
-
- ・科目の効果的配置のため、「数学4」の配当時期を「1前・後」から「1後」に変更。
 - ・科目の効果的配置のため、「データ工学のための数学基礎」の配当時期を「1後」から「1通」に変更。
 - ・科目の効果的配置のため、「情報ネットワーク基礎」の配当時期を「3後」から「1後」に変更。
 - ・科目の効果的配置のため、「イノベーションの倫理」の配当時期を「1後」から「1前」に変更。
 - ・科目の効果的配置のため、「ITビジネスマーケティング入門」の配当時期を「1後」から「1前」、基幹教員等の配置を「教授3」から「教授0」に変更。
 - ・科目内容充実のため、「数学基礎演習」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」に変更。
 - ・科目内容充実のため、「材料力学」の基幹教員以外の教員を「1」から「2」に変更。
-
- ・担当教員の就任により、「経済学基礎」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「データ&イノベーション概論」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「先端デジタル価値創造」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「DXのケーススタディ1」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「イノベーション創出」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「DXのケーススタディ2」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「インターンシップ」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「地域DXの実践」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「社会システムデザイン」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「学士特別研究」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・担当教員の就任により、「卒業研究」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
 - ・教育課程充実のため、「English1」、「1前」、「基幹教員以外の教員1」を追加。
 - ・教育課程充実のため、「データサイエンスリテラシー」、「1前」、「准教授1」を追加。
 - ・教育課程充実のため、「リベラルアーツとしての科学」、「2前」、「基幹教員以外の教員1」を追加。
 - ・教育課程充実のため、「現代天文学・宇宙論への招待」、「2後」、「基幹教員以外の教員1」を追加。
 - ・情報科学系科目再編のため、「情報科学基礎」、「1前」、「准教授1」及び「情報科学応用」、「1後」、「教授1」を追加。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年度の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
- 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
0 科目	145 科目	3 科目	148 科目	0 科目 [0]	145 科目 [0]	3 科目 [0]	148 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△1）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	日本発展史(E)	2	1後	一般	選択	全学的な人文・社会科学等科目のカリキュラム見直しが行われたため代替措置無
2	Reading/Listening	2	1前・後	一般	選択	全学的な英語カリキュラム見直しを行い、新設した「English 1」に内容を統合し、科目構成を見直したため
3	Advanced English Projects	2	2・3・4後	一般	選択	全学的な英語カリキュラム見直しを行い、新設した「English 1」に内容を統合し、科目構成を見直したため
4	Advanced Business English and TOEIC	2	2・3・4後	一般	選択	全学的な英語カリキュラムの見直しを行い、TOEIC関連科目2科目を「Business English and TOEIC」へ統合したことにより廃止
5	情報科学 1	2	1前	一般	選択	全学的な情報科学系科目再編に伴い、新設した「情報科学基礎」「情報科学応用」へ統合したことにより廃止
6	情報科学 2	2	1後	一般	選択	全学的な情報科学系科目再編に伴い、新設した「情報科学基礎」「情報科学応用」へ統合したことにより廃止
7	情報科学 3	2	1前	一般	選択	全学的な情報科学系科目再編に伴い、新設した「情報科学基礎」「情報科学応用」へ統合したことにより廃止
8	力学	2	1前	専門	選択	教育効果を高めるため、「力学1」「力学2」を新設したことにより廃止

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般科目では、放送大学科目及び英語科目を中心にカリキュラムの見直しが行われ、科目の新設や廃止、名称変更が行われた。

専門科目については、教育効果を高めるため「力学」を廃止し、「力学1」「力学2」を新設した。

学生には講義開始日までに実施するオリエンテーションにおいて、変更内容を反映した履修モデルを示し、履修指導を担当するアドバイザーから説明を行った。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{8}{148} = \boxed{5.4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	高知県立大学と永国寺キャンパスのすべてを共用			
	校 舎 敷 地	190,449㎡	12,388㎡	㎡	202,837㎡				
	そ の 他	18,163㎡	907㎡	㎡	19,070㎡				
	合 計	208,612㎡	13,295㎡	㎡	221,907㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	高知県立大学と永国寺キャンパスのみ共用			
		53,755㎡ (53,755㎡)	12,979㎡ (12,979㎡)	2,425㎡ (2,425 ㎡)	69,160㎡ (69,160㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	67室	教員研究室	135 41室	他学群の教員研究室を含めていたため（6）			
(4)図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	電子図書〔うち外国書〕	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				
	データ&イノベーション学群	6,877〔887〕 (6,448〔832〕) (6,713〔866〕)	550〔123〕 (387〔87〕) (442〔99〕)	106〔45〕 (94〔40〕) (97〔41〕)	1,183〔1,170〕 (519〔509〕) (541〔530〕)	5 (5)	0 (0)		
	計	6,877〔887〕 (6,448〔832〕) (6,713〔866〕)	550〔123〕 (387〔87〕) (442〔99〕)	106〔45〕 (94〔40〕) (97〔41〕)	1,183〔1,170〕 (519〔509〕) (541〔530〕)	5 (5)	0 (0)		
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
		30,336㎡		2,088㎡		38,724㎡			
(6)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費の増加は、音響設備等の改修のため。それ以外の経費の増減は、予算見直しのため（6）
		教員1人当たり研究費等	2,730 2,888千円	2,730千円	図書購入費	84,494千円	100,800 89,586千円	97,900千円	
		共同研究費等	104,000 80,800千円	104,000千円	設備購入費	92,316千円	92,316 166,540千円	92,316千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		835千円	535千円	535千円	535千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	高知工科大学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科のみ)	開設 年度	所在地	備 考		
高知工科大学	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度				
システム工学群	4	170	—	680	学士 (工学)	1.11	—	—	平成21	高知県香美市土佐 山田町宮ノ口185 番地	令和6年度に入学定員10名増 (令和4年度届出済、ACなし)		
理工学群	4	100	—	370	学士 (理工学)	1.09	—	—	平成21	同上			
情報学群	4	100	—	400	学士 (情報工学)	1.07	—	—	平成21	同上			
データ&イノベーション学群	4	60	二	60	学士(データ&イノベーション学)	1.03	—	—	令和6	高知県香美市土佐 山田町宮ノ口185 番地 高知県高知市永国 寺町2番22号		AC対象学群	
経済・マネジメント学群	4	160	—	640	学士 (経済学又は マネジメント学)	1.10	—	—	平成27	同上			
大学全体	4	590	—	2150	—	—	—	—	—	—			

(注) ・本調査の対象となっている大学短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「一」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6・7年度開設用) IV. 33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「一」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届 出 時 (令和5年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	【届出】 遵守事項	当該教員の専門分野を踏まえて、令和5年度に公募を実施した結果、新たに准教授1名が令和6年4月1日に就任した。（6）	履行中	教員の補充等については、全学の教員編成方針に従い、退職時期を見据えて公募等を順次実施し、計画どおり当該学群の教育・研究課程を実行する。（6）
届 出 時 (令和5年)	二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	【届出】 遵守事項	データ&イノベーション学群は、1～2年次の教育は香美キャンパスで基本的実施し、専門性の高い3～4年次の教育は永国寺キャンパスで実施するが、学生及び教員を対象に2つのキャンパス間を移動するシャトルバスを運行させており、教育研究等に支障はない。課外活動でも同様にこのシャトルバスの利用を案内している。（6）	履行中	シャトルバスの運行時間等必要に応じて見直しを行い、継続して学生及び教員の活動に支障がないか配慮する。（6）

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5) (6)」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜データ&イノベーション学群＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

本学は、教育をはじめ、研究、社会貢献等、教員の活動のほとんどを包括する「教員評価システム」を軸にFDを行っている。教員評価システムは、大学がどのような教員を望ましいと考えているかを項目により明確に提示し、その結果により各教員の成果を評価することとしている。どのような成果を上げれば、どのように評価されるのかを数値的に明確に示されているため、教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対して自己の取組を行うことが可能となっている。また、学生が行う授業評価も反映される仕組みとなっており、授業の改善にも繋がっている。

その他、「The Teacher of the Year」という教員表彰制度を設けており、その年に最も優れた授業を行った教員を学生の直接投票により選考し、表彰している。これにより、授業改善へのモチベーション維持・向上を図っている。

教育手法については、不定期ではあるが全教職員を対象とした教職員懇談会で教育に関するセミナー等を実施、また、令和2年度から開講した工学系共通科目をモデル科目と位置付け、科目担当教員で構成する「工学系共通科目検証会議」を授業改善の参考としてオンラインで全教員に公開するとともに、研究手法については、教員の研究活動を紹介するセミナー等を原則毎月実施するなど、優れた授業及び研究を行うための手法を学び、身に付ける機会を設けている。

なお、SDに関しては、SPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク）に参画し、フォーラムを含むセミナーに定期的に参加しており、各々が教育力向上に努めている。

① 実施体制

a 委員会の設置状況／b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）／c 委員会の審議事項等

FDに特化した委員会は設置していないが、次のような組織体制で取り組んでいる。

教育手法・・・教育センターで実施

研究手法・・・研究本部及び研究戦略推進センターで実施

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業手法についての研修会としての「教育セミナー（教職員懇談会）」、「工学系共通科目検証会議」
- ・ 研究手法についての研修会としての「サイエンス・カフェ」
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

・教育セミナー（教職員懇談会）

学内外から講師を募り、教育に関する講演を実施し、その後ディスカッションを行う。終了後、講演資料や講演時の動画を学内WEBに公開している。講演の場を教員だけではなく職員も参加する教職員懇談会とすることで、教職協働で教育を行う意識を高める機会にもなっている。

・工学系共通科目検証会議

工学系共通科目担当教員がメンバーとなり、授業実施にかかるシラバス、成績評価分布、授業評価アンケート、試験問題等、授業に関連する情報を共有しながら、工学系共通科目の目的に沿った質の高い授業が実施されているか検証することを目的として実施。会議の様子を全教員に公開している。

・サイエンス・カフェ

学内研究者の最新の研究成果を紹介し、異なる専門分野の知見に触発されて自身の研究の糸口を見出したり、学際的な研究シーズ／ニーズのマッチングにより学内での密な共同研究に繋がったりすることを目的として実施。セミナー資料を学内WEBに公開している。

・学生による授業評価アンケート

各クォーター及び学期終了時に、授業評価に関するアンケートを実施している。結果を学内WEBに公開している。

・新任教員のための研修会

新任教員を対象に、教育センター・研究戦略推進センター等からスクール形式での研修を実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・教育セミナー（教職員懇談会）

不定期に開催しているが、主に年1回程度。

・工学系共通科目検証会議

前期、後期に各1回程度。

・サイエンス・カフェ

年間10回程度開催、学群長から指名を受けた者と、全学に呼びかけを行い、教員及び職員の希望者が参加する。

・学生による授業評価アンケート

各クォーター及び学期終了時に実施している。

・新任教員のための研修会

就任直後の4月に新任教員全員を対象に実施している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業評価アンケートの結果を教員及び科目ごとに集計し、学内WEBに公開するとともに、その詳細を教員に紙媒体で提供している。これにより、各教員がその結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。また、アンケート結果は教育センターの主な検討課題の一つとしており、優れた授業につながるようなアンケート項目となっているか随時分析を行っている。この授業評価結果をはじめ、研究活動、社会貢献等を踏まえた教員評価によって、教員の昇進及び給与が決定される。

また、工学系共通科目検証会議において、適切な授業難易度等について議論し、令和4年度に比べて令和5年度の方が学生の時間外学修時間が向上した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全科目・全学生を対象に各学期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員・・・教員及び科目ごとに集計し、その詳細を紙媒体で提供している。

教員及び学生・・・結果の一覧を実施回ごとに学内ネットワーク上で閲覧が可能な形式で、公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今年度はデータ&イノベーション学群（以下、D&I学群）設置初年度となるが、昨年度実施した入学試験の当該学群における志願者数は定員60名に対して211名と入試倍率は3倍を超えており、順調な滑り出しとなった。入学時の入試成績が優秀な学生が認定される特待生制度にはD&I学群の新入生2名が認定され、優秀な学生も確保できている。教員採用についても、新たに1名を採用し、計画達成に向けた体制づくりが行えている。

また、D&I学群の持つデジタル技術やデータ分析の知見を企業の新事業開拓やビジネスモデル構築支援に活かすことを目的に、地方銀行と連携する取組が今年度から開始し、教育研究上の理念として挙げている学習成果を実システムに適用するための学生の実践的な学習の場としての活用が期待できる。

今後も設置の趣旨・目的の実現に向けた努力を行っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学では、認証評価に係る自己点検のほか、設置者により示された中期目標に沿って策定した中期計画をもとに、毎年度自己点検を実施している。令和4年度までは、年度計画に対する取組等を業務実績報告書としてまとめ、高知県公立大学法人評価委員会による実績評価を受けていた。令和5年度からは、この年度計画に対する評価が廃止されたため、学内の内部質保証システムのもとで、自己点検を実施している。

これまでの点検・評価報告書及び業務実績報告書は、大学ホームページにて公表している。

b 公表方法

・「高知工科大学点検・評価報告書」「大学基準協会による大学評価（認証評価）結果」「高知県公立大学法人業務実績報告書」を、大学ホームページへ掲載している。

③ 認証評価を受ける計画

・令和元年度に評価機関の認証評価を受け、「適合」の評価を得た。次回は令和8年度に受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。